

2022 年度一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会 定時社員総会議題

日 時：2022 年 6 月 11 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分
開催形式：WEB 会議ツール「Zoom」を使用したオンライン開催
議 場：日本体育・スポーツ・健康学会事務局

議事に先立って

1. 定足数の確認
2. 会長挨拶
3. 議長の選出
4. 議事録署名人の選出

審議事項

1. 2021 年度事業報告について (資料 1, p. 2)
2. 2021 年度収支決算について
(1) 決算報告について (資料 2-1, p. 8)
(2) 監査報告について (資料 2-2, p. 19)
3. 委員会規程の改正について (資料 3, p. 20)

報告事項

1. 第 72 回大会（順天堂大学）の準備状況について (資料 4, p. 21)
2. 第 73 回大会（同志社大学）の準備状況について (資料 5, p. 25)
3. 2025 年度学会大会主管校候補について
4. 2022 年度諸会議日程について (資料 6, p. 26)
5. その他

2021 年度事業報告（案）

1. 常設委員会の活動

(1) 理事会・総会

1) 2021 年度理事会、総会等を下記の日程で開催した。

理 事 会：2021 年 4 月 17 日（土）、5 月 22 日（土）、7 月 10 日（土）、
9 月 6 日（月）、10 月 9 日（土）、12 月 18 日（土）、
2022 年 3 月 5 日（土）

定時社員総会：2021 年 6 月 12 日（土）

臨時社員総会：2021 年 9 月 7 日（火）

(2) 運営委員会

- 1) 新型コロナウイルス感染状況に鑑み、2021 年度の定時社員総会並びに臨時社員総会については、WEB 会議ツール「Zoom」を使用したオンライン形式にて開催した。
- 2) 2021・2022 年度理事会の重要課題について理事会に報告した。
- 3) 第 72 回大会以降の学会大会の組織委員会・実行委員会の構成について検討し、理事会に報告した。
- 4) 第 72 回大会以降の学会大会テーマの決め方について検討し、理事会の承認を得た。
- 5) 領域横断特別委員会の設置について、理事会において承認を受けた。
- 6) 第 72 回大会の開催方式を検討した。
- 7) 2023・2024 年度以降の副会長の分掌を検討した。

(3) 庶務委員会

- 1) 2021 年度事業計画の実行を諸委員会と連携を図りながら進めた。
- 2) 2020 年度事業報告を作成した（定時社員総会承認）。
- 3) 2022 年度事業計画（案）を作成した（臨時社員総会承認）。
- 4) 2022 年 4 月 1 日付け名誉会員について検討した（臨時社員総会承認）。
- 5) 2023・2024 年度選挙管理委員会の構成案を作成した。また、選挙の実施方法について検討した。
- 6) 2021 年度協力学会助成金の配分方式を検討し、助成金の申請を受け付けた。また、体育・スポーツ政策専門領域の新設に伴い、専門領域補助金の配分金額を見直した。
- 7) 2021 年度学会賞等の選考を「学会賞選考委員会」において実施した（臨時社員総会時に授与）。
- 8) 2021 年度浅田学術奨励賞の選考を「浅田学術奨励賞選考委員会」において実施した（臨時社員総会時に授与）。
- 9) 学会賞・浅田学術奨励賞受賞論文の IJSHS への二次出版について、2021 年度の対象論文を選定した。
- 10) 常勤職にない若手会員に対する年度会費減免措置（申し合わせ）に基づき、34 件の申請のうち 28 件について許諾した。
- 11) 新型コロナウイルス禍にかかわり経済的に困窮している常勤職にない会員に対する

- 年度会費減免措置について理事会の承認を得、18 件の申請のうち 14 件の免除措置を行った。また、2022 年度もこの措置を継続することについて、理事会の承認を得た。
- 12) 休会制度に関する申し合わせに基づき、2022 年度の休会申請 9 件のうち 7 件について許諾し、2 件を保留とした。また、復会申請 1 件を許諾した。
 - 13) 2025 年以降の学会大会主管校について、公募要項に基づき、公募を行った。なお、2022 年は順天堂大学、2023 年は同志社大学、2024 年は福岡大学が主管校となることについて、総会で承認を得た。
 - 14) 「男女共同参画」委員会の名称変更について、「ダイバーシティ」委員会とすることに関し理事会の承認を得た。2022 年総会で承認を得ることとした。
 - 15) 学会名称変更に伴う専門領域等関係組織への対応と手続きについて理事会の承認を得、各組織の名称使用状況を調査した。
 - 16) 会員数（2022 年 3 月 31 日現在）
正会員：5,681名（2021年3月31日、5,796名）、賛助会員：5名、名誉会員：190名、顧問会員：1名、購読会員：62名

(4) 会計委員会

- 1) 2020 年度収支決算書を作成した（定時社員総会承認）。
- 2) 地域及び専門領域への補助金の配分を行った。
- 3) 2021 年度補正予算を作成した（臨時社員総会承認）。
- 4) 2022 年度予算書を作成した（臨時社員総会承認）。
- 5) 日本教育シューズ学校体育振興基金に補助金申請を行い、補助を受けた。

(5) 「体育学研究」編集委員会

- 1) 「体育学研究」第 66 巻に投稿論文 59 編、二次出版論文 1 編、その他 2 編をオンラインジャーナルとして J-Stage に掲載した。なお 2021 年の投稿数は 159 編であった。
- 2) 「体育学研究」の投稿システムに、剽窃チェックツールを導入した。
- 3) IJSHS への二次出版投稿申請を 7 件受け付けた。

(6) 「IJSHS」編集委員会

- 1) 「International Journal of Sport and Health Science」第 19 巻をオンラインジャーナルとして J-Stage に掲載した。
- 2) 第 19 巻に「体育学研究」からの二次出版論文 1 編を掲載した（授賞論文は除く）。
- 3) 年間投稿数は 47 編、掲載数は 12 編であった。
- 4) 「IJSHS」の投稿システムに、剽窃チェックツールを導入した。

(7) 学会大会委員会

- 1) 第 71 回大会（オンライン開催、2021 年 9 月 7-9 日）を主管校（筑波大学）選出の組織委員と連携を図りながら企画・運営した。
- 2) 第 71 回大会抄録データを J-Stage へ掲載し、同データを大会 Web サイト上でも一般公開した。

- 3) 第 72 回大会（於：順天堂大学、2022 年 8 月 31-9 月 2 日）の運営について、主管校と本部（理事会及び学会事務局）との業務分担を検討し、明確化した。
- 4) 第 72 回大会を主管校選出の組織委員と連携を図りながら準備した。
- 5) 第 73 回大会以降の組織委員会と実行委員会の構成並びに常設委員会や特別委員会との関係性について明確化した。
- 6) 「学会大会開催の手引き」改定を検討し、第 73 回大会以降の運用を目指し、改定作業を行った（継続中）。

(8) 国際交流委員会

- 1) 国際交流協定に基づき、中国体育科学学会、韓国体育学会、台湾体育学会、ドイツスポーツ科学学会、インド体育学会に、第 71 回大会の開催について案内を送付し、さらに参加及び発表申込用に英語版サイトを作成して申込を受け付けた。インド体育学会から 2 名の招待発表者が国際交流協定に基づいて発表した。
- 2) 協定学会のドイツスポーツ科学学会との協定を 7 月に延長した。ドイツ側の事情により、今回の協定期間は 2021 年 7 月 15 日から 1 年間となった。
- 3) 来田享子副会長の ICSSPE 総会出席と学会を代表して投票権を行使することについて、学会運営委員会で承認された。また、田原淳子会員が学会推薦によって ICSSPE の Development Committee 委員に立候補することが承認された。田原会員は 2021 年 5 月 12 日に行われた ICSSPE 総会で選挙により当該委員として選出され就任することになった（任期：4 年間）。
- 4) ドイツスポーツ科学学会との協定書に基づき、第 11 回日独スポーツ科学会議の開催について検討した。2023 年度に日本が主催となり開催する予定である。
- 5) ドイツスポーツ科学学会から第 25 回大会（2022 年 3 月 29-31 日、オンライン開催）への招待を受け、学会運営委員会並びに国際交流委員会で検討した結果、岡出美則副会長とライトナー・カトリン幹事を派遣した。
- 6) 国際交流に関わる情報を収集し、学会ホームページを通して会員に随時通知した。
- 7) 海外からの問い合わせに随時回答を行った。

(9) 企画委員会

- 1) 第 72 回大会の大会テーマを提案した。
 テーマ：総合知を生み出す体育・スポーツ・健康科学
 ー成熟社会にむけての不断前進ー
 Physical Education, Health and Sport Sciences: Facilitating Convergence of Multidisciplinary Knowledge
 -Continuous Progress toward a mature and sustainable society-
- 2) 第 72 回大会における本部企画（シンポジウム）を大会組織委員会（主管校）と協力してまとめた。
 シンポジウム 1 総合知を支える学会を目指して
 シンポジウム 2 持続可能な成熟社会と体育・スポーツ科学

(10) 広報委員会

- 1) ホームページ(以下、HP)の充実と活性化について検討を重ねると共に、他委員会との連携、他機関とのリンク等を進めた。
- 2) 各種情報の収集(教員公募・学会開催・コラム等)とHP上での周知を行った。
- 3) HPにおける「日本体育学会 若手の会」ページに掲載しているコラムリレー(Vo. 45～Vol. 57)を掲載した。
- 4) HPのお知らせにおいて、「ICSSPE ニュースレター(毎月配信)」を掲載した。
- 5) Facebookにおける情報の更新を行い、HPに掲載した情報発信の迅速化を図った。
- 6) 若手研究者向けにInstagramにおける情報発信を開始した。
- 7) Facebook及びInstagramの情報発信の内容に関する取り決めを広報委員会にて策定し、理事会における承認を経た。
- 8) 公式HPにおけるトップ画像の変更に向け、業者への連絡等の準備を進めた。

(11) 研究倫理委員会

- 1) 2021年3月23日付けで制定された「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に関する情報収集を行った。
- 2) 研究倫理申請を受け付けた際の審査フローチャートの作成を始めた。
- 3) 「体育学研究」編集委員会から研究倫理に関する問合せを受け、それに回答した。

(12) 政策検討・諮問委員会

- 1) 第71回大会本部企画シンポジウム1を開催した。テーマは「体育・スポーツ・健康科学を基盤とした Evidence Based Sport Policy の開発に向けて」である(2021年9月7日)。
- 2) 本部企画シンポジウム報告書をJ-stageにて公開を行なった(2022年3月17日)。
- 3) 政策課題化検討分科会は第3期スポーツ基本計画(中間報告)に対するパブリックコメントを提出した(2022年1月19日)。
- 4) 学校体育検討分科会は分科会メンバーが所属する専門領域の研究レビューを行なった。
- 5) ダイバーシティ検討分科会はダイバーシティ推進の意義についての再確認と男女共同参画を含む関連委員会との調整・連携・協力の方向性を検討した。

(13) 学術連合連携委員会

- 1) 書面表決形式での総会に本学会として出席した。
- 2) 学術連合の運営に協力した。
- 3) スポーツ体育健康科学学術フォーラム「スポーツの新たなステージへ～調和のとれた共生社会の構築に向けて～」を日本学術会議健康・生活科学委員会健康・スポーツ科学分科会、学術連合と共催した。

(14) 男女共同参画委員会

- 1) 委員会の業務内容の見直し及び名称変更について検討した(新名称「ダイバーシテ

イ委員会」、2022年度総会で承認予定)。

- 2) 男女共同参画及びダイバーシティの観点からの研究環境に関する Web 調査の実施を検討した。

(15)若手研究者委員会

- 1) 「日本体育・スポーツ・健康学会若手の会」メーリングリスト (ML) を運用し (2022年3月現在 ML 登録 485 名)、月に 1、2 回程度のコラム (若手会員の研究紹介) や学会・セミナー等の案内を配信した。
- 2) 第 72 回大会においてシンポジウム「若手研究者に求められる体育・スポーツ・健康科学の社会的使命—「学際性」のリアルとロマン—」、交流企画「若手研究者委員会プレゼンツ『学会の未来を語る会』」を企画、運営した。
- 3) 第 2 回日本体育・スポーツ・健康学会若手の会セミナー「キャリアの広げ方」(オンライン開催、2022年3月26日)を企画、運営、開催した。なお本セミナーの報告書を作成、公開する予定である。
- 4) 学会への入会促進ポスターの作成を進めた。

2. 特別委員会の活動

(1)指導者資格特別委員会

- 1) 第 1 回共通科目コーチデベロッパー養成講習会運営ワーキンググループによる審査の結果、3 名が 2021 年度コーチデベロッパー養成講習会受講内定者として決定された。
- 2) 日本スポーツ協会公益財団法人日本スポーツ協会スポーツ指導者育成部より 2021 年度共通科目コーチデベロッパー養成講習会修了者の報告を受けた。

(2)領域横断特別委員会

- 1) 第 71 回大会におけるテーマ別シンポジウム及びテーマ別研究発表を主管校と連携を図りながら運営した。
- 2) 第 71 回大会におけるテーマ別シンポジウム及びテーマ別研究発表の報告書の作成に協力した。
- 3) 第 72 回大会におけるテーマ別シンポジウム及びテーマ別研究発表について企画案を検討し、成案を取りまとめた。

3. 第 71 回大会の開催

第 71 回大会を、2021 年 9 月 7 日 (火) から 9 日 (木) までの 3 日間の会期により、筑波大学の主管でオンライン形式にて開催した。発表演題数は、一般研究発表 257 題、テーマ別研究発表 169 題であった。

事業報告の附属明細書 (案)

1. 学会賞・学会奨励賞・浅田学術奨励賞の選考・授与

学会賞候補として 31 編、学会奨励賞候補として 29 編の推薦があり、学会賞選考委員会(長ヶ原誠委員長)において審査の結果、下記の通りそれぞれを候補とし、2021 年 7 月 10 日開催の理事会において決定し、9 月 7 日の臨時社員総会において授与した。

学会賞

林 洋輔 学問における「体育Taiiku」概念：
『体育学研究』総説論文の結集に観るその創出と変遷
「体育学研究」第65巻 607-626頁（総説）

学会奨励賞

秋本 成晴 他 一般の障害者のエンパワメントとしてのパラリンピックの限界：
障害種の違いに着目して
「体育学研究」第65巻 337-347頁（原著論文）

浅田学術奨励賞候補の推薦があり、浅田学術奨励賞選考委員会（山本裕二委員長）において審査の結果、下記の論文を候補とし、2021 年 7 月 10 日開催の理事会において決定し、9 月 7 日の臨時社員総会において授与した。

体育哲学

高尾 尚平 暴力指導の超克へ向けたスポーツ科学の定位
「体育学研究」第65巻 153-169頁（原著論文）

体育科教育学

奥村 拓朗 他 体育授業における個人ベースのゲームパフォーマンス評価：
小学校6年生のゴール型のカリキュラム評価を通じて
「体育学研究」第65巻 627-641頁（原著論文）

収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
① 基本財産運用収入	基本財産利息収入	基本財産利息収入	1,000	339	661	
② 特定資産運用収入	特定資産利息収入	特定資産利息収入	1,000	234	766	
③ 入金収入	入金収入	入金収入	150,000	258,000	△ 108,000	注1
④ 会費収入	1 正会員会費収入	正会員会費収入計	55,700,000	54,460,000	1,240,000	注2
	2 賛助会員会費収入	賛助会員会費収入	100,000	100,000	0	注3
	会費収入計		55,800,000	54,560,000	1,240,000	
⑤ 事業収入	1 学会大会収入	(1) 大会参加費収入	10,200,000	7,590,500	2,609,500	
		(2) 大会号売上収入	0	0	0	
		(3) 広告・協賛金収入	6,330,000	6,550,000	△ 220,000	
		(4) その他収入	0	0	0	
	学会大会収入計		16,530,000	14,140,500	2,389,500	
	2 その他事業収入	(1) 著者負担金収入	200,000	773,766	△ 573,766	
(2) 「科学事典」・機関誌等売上収入		50,000	298,000	△ 248,000		
(3) 購読会員会費収入		900,000	770,000	130,000		
(4) その他収入		300,000	284,661	15,339	注4	
その他事業収入計		1,450,000	2,126,427	△ 676,427		
事業収入計			17,980,000	16,266,927	1,713,073	
⑥ 補助金等収入	民間助成金収入	(1) 日本教育シューズ学校体育振興助成金収入	200,000	200,000	0	
		(2) 学会大会助成金収入	0	0	0	
	民間助成金収入計		200,000	200,000	0	
補助金等収入計			200,000	200,000	0	
⑦ 寄付金収入	寄付金収入	学会大会寄付金収入	250,000	0	250,000	
⑧ 雑収入	1 受取利息収入	受取利息収入	100	698	△ 598	
	2 助成金戻り収入	2020横浜助成金戻り収入	14,000,000	14,647,704	△ 647,704	注5
	雑収入計		14,000,100	14,648,402	△ 648,302	
事業活動収入計			88,382,100	85,933,902	2,448,198	
2. 事業活動支出						
① 事業費支出	1 学会大会費支出	(1) 幹事手当支出	0	40,000	△ 40,000	注6
		(2) 給料手当支出	1,800,000	1,260,000	540,000	
		(3) 臨時雇賃金支出	1,000,000	173,505	826,495	
		(4) 会議費支出	10,000	0	10,000	
		(5) 旅費交通費支出	100,000	0	100,000	
		(6) 通信運搬費支出	500,000	426,669	73,331	
		(7) 消耗品費支出	800,000	3,980	796,020	
		(8) 印刷製本費支出	2,500,000	1,269,800	1,230,200	
		(9) 賃借料支出	100,000	0	100,000	
		(10) 諸謝金支出	1,000,000	495,480	504,520	
		(11) 委託費支出	14,250,000	8,038,745	6,211,255	
		(12) 雑支出	100,000	0	100,000	
	学会大会費支出計		22,160,000	11,708,179	10,451,821	
	2 学会誌刊行費支出	(1) 幹事手当支出	160,000	160,000	0	
		(2) 会議費支出	50,000	0	50,000	
		(3) 旅費交通費支出	300,000	0	300,000	
		(4) 通信運搬費支出	300,000	84,772	215,228	注7
		(5) 印刷製本費支出	1,500,000	1,304,600	195,400	注8
		(6) 委託費支出	5,500,000	5,373,853	126,147	注9
	学会誌刊行費支出計		7,810,000	6,923,225	886,775	
	3 国際誌刊行費支出	(1) 幹事手当支出	80,000	80,000	0	
		(2) 給料手当支出	2,720,000	2,717,735	2,265	
		(3) 臨時雇賃金支出	210,000	204,100	5,900	
		(4) 会議費支出	20,000	0	20,000	
		(5) 旅費交通費支出	200,000	0	200,000	
		(6) 委託費支出	1,540,000	1,531,139	8,861	注10
	国際誌刊行費支出計		4,770,000	4,532,974	237,026	
4 国際交流費支出	(1) 幹事手当支出	160,000	160,000	0		
	(2) 旅費交通費支出	1,000,000	0	1,000,000		
	(3) 通信運搬費支出	20,000	0	20,000		
	(4) 消耗品費支出	100,000	0	100,000		
	(5) 諸会費支出	40,000	35,313	4,687		
	(6) 委託費支出	300,000	0	300,000		
	(7) 雑支出	30,000	0	30,000		
国際交流費支出計		1,650,000	195,313	1,454,687		

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	備考
① 事業費支出	5 地域等活動補助費支出	(1) 専門領域補助金支出	1,850,000	1,850,000	0	
		(2) 地域協力学会補助金支出	2,150,000	2,000,000	150,000	
		地域等活動補助費支出 計	4,000,000	3,850,000	150,000	
	6 特別委員会費支出	(1) 幹事手当支出	50,000	0	50,000	
		(2) 臨時雇賃金支出	50,000	0	50,000	
		(3) 会議費支出	50,000	0	50,000	
		(4) 旅費交通費支出	50,000	0	50,000	
		(5) 諸謝金支出	50,000	0	50,000	
		特別委員会費支出 計	250,000	0	250,000	
	7 常設委員会費支出	(1) 幹事手当支出	240,000	240,000	0	
		(2) 会議費支出	60,000	0	60,000	
		(3) 旅費交通費支出	410,000	0	410,000	
		(4) 通信運搬費支出	50,000	0	50,000	
		(5) 印刷製本費支出	290,000	0	290,000	
		(6) 諸謝金支出	90,000	0	90,000	
		(7) 委託費支出	610,000	609,180	820	
		(8) 雑支出	20,000	0	20,000	
		常設委員会費支出 計	1,770,000	849,180	920,820	
	8 学会賞基金事業費支出	(1) 学会賞支出	250,000	250,000	0	
		(2) 通信運搬費支出	1,800	1,100	700	
学会賞基金事業費支出 計		251,800	251,100	700		
9 浅田基金事業費支出	(1) 学術奨励賞支出	200,000	200,000	0		
	(2) 通信運搬費支出	1,800	1,100	700		
	浅田基金事業費支出 計	201,800	201,100	700		
10 事業共通費支出	(1) 給料手当支出	8,800,000	8,792,794	7,206		
	(2) 臨時雇賃金支出	200,000	0	200,000		
	(3) 退職給付費用支出	880,000	576,000	304,000		
	(4) 福利厚生費支出	2,000,000	1,859,987	140,013		
	(5) 会議費支出	40,000	3,689	36,311		
	(6) 旅費交通費支出	40,000	9,190	30,810		
	(7) 通信運搬費支出	800,000	173,041	626,959		
	(8) 消耗品費支出	400,000	323,971	76,029		
	(9) 印刷製本費支出	360,000	107,504	252,496		
	(10) 賃借料支出	240,000	171,072	68,928		
	(11) 事務所使用料支出	3,600,000	3,496,216	103,784		
	(12) 諸謝金支出	500,000	496,869	3,131		
	(13) 租税公課支出	400,000	125,888	274,112		
	(14) 諸会費支出	130,000	122,000	8,000		
	(15) 委託費支出	870,000	866,562	3,438		
	(16) 雑支出	40,000	8,144	31,856		
	事業共通費支出 計	19,300,000	17,132,927	2,167,073		
事業費支出 計			62,163,600	45,643,998	16,519,602	
② 管理費支出	1 常設委員会費支出	(1) 幹事手当支出	80,000	80,000	0	
		(2) 会議費支出	200,000	4,800	195,200	
		(3) 旅費交通費支出	1,700,000	17,214	1,682,786	
		(4) 消耗品費支出	0	0	0	
		(5) 印刷製本費支出	0	0	0	
		常設委員会費支出 計	1,980,000	102,014	1,877,986	
	2 その他管理費支出	(1) 給料手当支出	2,200,000	2,198,198	1,802	
		(2) 臨時雇賃金支出	50,000	0	50,000	
		(3) 退職給付費用支出	220,000	144,000	76,000	
		(4) 福利厚生費支出	500,000	464,997	35,003	
		(5) 会議費支出	10,000	922	9,078	
		(6) 旅費交通費支出	10,000	2,298	7,702	
		(7) 通信運搬費支出	800,000	173,041	626,959	
		(8) 消耗品費支出	100,000	80,993	19,007	
		(9) 印刷製本費支出	90,000	26,876	63,124	
		(10) 賃借料支出	60,000	42,768	17,232	
		(11) 事務所使用料支出	900,000	874,054	25,946	
		(12) 諸謝金支出	1,210,000	1,202,217	7,783	
		(13) 会費等入金手数料支出	1,000,000	832,696	167,304	
		(14) 租税公課支出	20,000	15,362	4,638	
(15) 委託費支出	2,200,000	1,642,084	557,916			
(16) 雑支出	10,000	2,036	7,964			
その他管理費支出 計	9,380,000	7,702,542	1,677,458			
管理費支出 計			11,360,000	7,804,556	3,555,444	

大 科 目	中 科 目	小 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
事業活動支出 計			73,523,600	53,448,554	20,075,046	
事業活動収支差額			14,858,500	32,485,348	△ 17,626,848	
II 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
①特定資産取崩収入	特定資産取崩収入	(1)学会賞引当特定資産取崩収入	252,000	250,000	2,000	
		(2)浅田基金引当特定資産取崩収入	200,100	200,000	100	
	特定資産取崩収入 計		452,100	450,000	2,100	
投資活動収入 計			452,100	450,000	2,100	
2. 投資活動支出						
① 特定資産取得支出	特定資産取得支出	(1)国際交流引当特定資産取得支出	500	88	412	
		(2)学会賞引当特定資産取得支出	200	35	165	
		(3)浅田基金引当特定資産取得支出	100	43	57	
		(4)システム改修準備金積立資産取得支出	0	68	△ 68	
		特定資産取得支出 計		800	234	566
投資活動支出 計			800	234	566	
投資活動収支差額			451,300	449,766	1,534	
III 財務活動収支の部						
1. 財務活動収入						
財務活動収入 計			0	0	0	
2. 財務活動支出						
財務活動支出 計			0	0	0	
財務活動収支差額			0	0	0	
IV 予備費支出						
			(1,140,000)			注11
			1,860,000	0	1,860,000	
税引前当期収支差額			13,449,800	32,935,114	△ 19,485,314	
法人税、住民税及び事業税			70,000	70,000	0	
当期収支差額			13,379,800	32,865,114	△ 19,485,314	
前期繰越収支差額			32,453,537	48,511,846	△ 16,058,309	
次期繰越収支差額			45,833,337	81,376,960	△ 35,543,623	

注1 1,000円*258名

注2 本年度会費 10,000円*5,361名 過年度会費 850,000円

注3 20,000円*5口

注4 著作権使用料 284,661

注5 2020横浜スポーツ学術会議のために助成金4,600万円を拠出し、余剰金が返却された

注6 年度途中で新たに学会大会委員会に幹事が設置されたため

注7 第66巻 購読会員等への発送費用

注8 第66巻 200部作成

注9 J-STAGE搭載費 195,800 編集委託費 2,273,920 文献等照合費 340,274 査読費 210,000 英文校正費 181,359
 発送委託費 5,500 編集業務委託費 2,156,000 その他 11,000

注10 J-STAGE搭載費 682,000 文献等照合費 301 査読費 90,000 翻訳ブルーフ 747,838 その他 11,000

注11 予備費使用額 国際誌刊行費支出-給料手当支出20,000 国際誌刊行費支出-臨時雇賃金支出210,000

国際誌刊行費支出-委託費支出40,000 国際交流費支出-諸会費支出10,000円 常設委員会費支出-幹事手当支出80,000

常設委員会費支出-委託費支出280,000円 事業共通費支出-給料手当支出200,000円 事業共通費支出-諸謝金支出50,000円

事業共通費支出-諸会費支出10,000 事業共通費支出-委託費支出170,000 管理費支出-給料手当支出50,000円

管理費支出-諸謝金支出10,000円 管理費支出-租税公課支出10,000

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金、前払金、前受金及び預り金を含めている。
 なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 ・ 預 金	48,414,705	80,983,112
前 払 金	1,039,861	1,062,198
合 計	49,454,566	82,045,310
前 受 金	590,000	120,000
預 り 金	352,720	548,350
合 計	942,720	668,350
次期繰越収支差額	48,511,846	81,376,960

3 各委員会ごとの支出内訳

事業費支出

特別委員会費支出	指導者資格	領域横断	合 計
幹事手当支出			0
臨時雇賃金支出			0
会議費支出			0
旅費交通費支出			0
諸謝金支出			0
特別委員会費支出 計	0	0	0

常設委員会費支出	政策検討・諮問	学会大会	広報	研究倫理	男女共同参画	若手研究者	合 計
幹事手当支出	160,000		80,000				240,000
会議費支出							0
旅費交通費支出							0
通信運搬費支出							0
印刷製本費支出							0
諸謝金支出							0
委託費支出	108,680		500,500				609,180
常設委員会費支出 計	268,680	0	580,500	0	0	0	849,180

管理費支出

常設委員会費支出	庶務・会計	総 会	理事会	合 計
幹事手当支出	80,000			80,000
会議費支出	4,800			4,800
旅費交通費支出		17,214		17,214
消耗品費支出				0
印刷製本費支出				0
常設委員会費支出 計	84,800	17,214	0	102,014

貸借対照表
令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	80,983,112	48,414,705	32,568,407
前払金	1,062,198	1,039,861	22,337
流動資産合計	82,045,310	49,454,566	32,590,744
2 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2)特定資産			
国際交流引当特定資産	5,171,547	5,171,459	88
学会賞基金引当特定資産	4,009,755	4,259,720	△ 249,965
浅田基金引当特定資産	2,900,224	3,100,181	△ 199,957
システム改修準備金積立資産	4,000,246	4,000,178	68
特定資産合計	16,081,772	16,531,538	△ 449,766
(3)その他の固定資産			
什器備品	3,160,773	3,618,614	△ 457,841
ソフトウェア	328,320	492,480	△ 164,160
差入保証金	972,000	972,000	0
その他の固定資産合計	4,461,093	5,083,094	△ 622,001
固定資産合計	40,542,865	41,614,632	△ 1,071,767
資産合計	122,588,175	91,069,198	31,518,977
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	120,000	590,000	△ 470,000
預り金	548,350	352,720	195,630
流動負債合計	668,350	942,720	△ 274,370
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	668,350	942,720	△ 274,370
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	6,900,000	7,100,000	△ 200,000
指定正味財産合計	6,900,000	7,100,000	△ 200,000
(うち特定資産への充当額)	(6,900,000)	(7,100,000)	(△ 200,000)
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(9,181,772)	(9,431,538)	(△ 249,766)
正味財産合計	121,919,825	90,126,478	31,793,347
負債及び正味財産合計	122,588,175	91,069,198	31,518,977

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

大科目	中科目	小科目	当年度	前年度	増減	
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 基本財産運用益	基本財産受取利息	基本財産受取利息	339	1,698	△ 1,359	
② 特定資産運用益	特定資産受取利息	特定資産受取利息	234	1,020	△ 786	
③ 受取入会金	受取入会金	受取入会金	258,000	145,000	113,000	
④ 受取会費	1 正会員受取会費	(1) 本年度受取会費	53,610,000	54,460,000	△ 850,000	
		(2) 過年度受取会費	850,000	1,320,000	△ 470,000	
		正会員受取会費計	54,460,000	55,780,000	△ 1,320,000	
	2 賛助会員受取会費	賛助会員受取会費	100,000	100,000	0	
		受取会費計	54,560,000	55,880,000	△ 1,320,000	
⑤ 事業収益	1 学会大会収益	(1) 大会参加費収益	7,590,500	0	7,590,500	
		(2) 大会号売上	0	0	0	
		(3) 受取広告・協賛金	6,550,000	0	6,550,000	
		(4) その他	0	0	0	
			学会大会収益計	14,140,500	0	14,140,500
	2 その他事業収益	(1) 受取著者負担金	773,766	209,754	564,012	
(2) 「科学事典」・機関紙等売上		298,000	59,500	238,500		
(3) 購読会員会費収益		770,000	900,000	△ 130,000		
(4) その他		284,661	444,244	△ 159,583		
		その他事業収益計	2,126,427	1,613,498	512,929	
		事業収益計	16,266,927	1,613,498	14,653,429	
⑥ 受取補助金等	受取民間助成金	日本教育シューズ学校体育振興助成金	200,000	200,000	0	
		学会大会補助金	0	0	0	
			受取補助金等計	200,000	200,000	0
⑦ 受取寄付金	受取寄付金	(1) 受取寄付金	0	0	0	
		(2) 受取寄付金振替額	200,000	100,000	100,000	
			受取寄付金計	200,000	100,000	100,000
⑧ 雑収益	1 受取利息	受取利息	698	426	272	
	2 助成金戻し収益	助成金戻し収益	14,647,704	0	14,647,704	
	3 受取移転補償料	受取移転補償料	0	76,778	△ 76,778	
	4 雑収益	雑収益	0	34,800	△ 34,800	
			雑収益計	14,648,402	112,004	14,536,398
経常収益計			86,133,902	58,053,220	28,080,682	
(2) 経常費用						
① 事業費	1 学会大会費	(1) 幹事手当	40,000	0	40,000	
		(2) 給料手当	1,260,000	0	1,260,000	
		(3) 臨時雇賃金	173,505	0	173,505	
		(4) 会議費	0	0	0	
		(5) 旅費交通費	0	0	0	
		(6) 通信運搬費	426,669	0	426,669	
		(7) 消耗品費	3,980	0	3,980	
		(8) 印刷製本費	1,269,800	0	1,269,800	
		(9) 賃借料	0	0	0	
		(10) 諸謝金	495,480	0	495,480	
		(11) 委託費	8,038,745	0	8,038,745	
		(12) 雑費	0	0	0	
			学会大会費計	11,708,179	0	11,708,179
	2 学会誌刊行費	(1) 幹事手当	160,000	160,000	0	
		(2) 会議費	0	0	0	
		(3) 旅費交通費	0	0	0	
		(4) 通信運搬費	84,772	94,061	△ 9,289	
		(5) 印刷製本費	1,304,600	1,433,300	△ 128,700	
		(6) 委託費	5,373,853	5,517,992	△ 144,139	
			学会誌刊行費計	6,923,225	7,205,353	△ 282,128

大 科 目	中 科 目	小 科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
① 事業費	3 国際誌刊行費	(1) 幹事手当	80,000	80,000	0
		(2) 給料手当	2,717,735	0	2,717,735
		(3) 臨時雇賃金	204,100	1,371,350	△ 1,167,250
		(4) 会議費	0	0	0
		(5) 旅費交通費	0	0	0
		(6) 委託費	1,531,139	1,151,290	379,849
		国際誌刊行費 計	4,532,974	2,602,640	1,930,334
	4 国際交流費	(1) 幹事手当	160,000	160,000	0
		(2) 会議費	0	0	0
		(3) 旅費交通費	0	0	0
		(4) 消耗品費	0	0	0
		(5) 諸謝金	0	0	0
		(6) 諸会費	35,313	66,913	△ 31,600
		(7) 委託費	0	0	0
		(8) 雑費	0	0	0
	国際交流費 計	195,313	226,913	△ 31,600	
	5 地域等活動補助費	(1) 領域補助金	1,850,000	1,750,000	100,000
		(2) 地域補助金	2,000,000	2,133,000	△ 133,000
		地域等活動補助費 計	3,850,000	3,883,000	△ 33,000
	6 特別委員会費	(1) 幹事手当	0	32,000	△ 32,000
		(2) 会議費	0	0	0
		特別委員会費 計	0	32,000	△ 32,000
	7 常設委員会費	(1) 幹事手当	240,000	160,000	80,000
		(2) 会議費	0	0	0
		(3) 旅費交通費	0	0	0
		(4) 印刷製本費	0	39,500	△ 39,500
		(5) 諸謝金	0	22,274	△ 22,274
		(6) 委託費	609,180	462,000	147,180
	常設委員会費 計	849,180	683,774	165,406	
	8 学会賞基金事業費	(1) 学会賞費	250,000	250,000	0
		(2) 通信運搬費	1,100	1,540	△ 440
		学会賞基金事業費 計	251,100	251,540	△ 440
	9 浅田基金事業費	(1) 学術奨励賞費	200,000	100,000	100,000
		(2) 通信運搬費	1,100	770	330
		浅田基金事業費 計	201,100	100,770	100,330
	10 事業共通費	(1) 給料手当	8,792,794	8,555,001	237,793
		(2) 退職給付費用	576,000	576,000	0
		(3) 福利厚生費	1,859,987	1,288,265	571,722
		(4) 会議費	3,689	0	3,689
		(5) 旅費交通費	9,190	0	9,190
		(6) 通信運搬費	173,041	661,738	△ 488,697
		(7) 減価償却費	366,273	439,918	△ 73,645
		(8) 消耗品費	323,971	272,969	51,002
		(9) 印刷製本費	107,504	359,734	△ 252,230
		(10) 賃借料	171,072	171,072	0
		(11) 事務所使用料	3,496,216	3,469,554	26,662
		(12) 諸謝金	496,869	413,920	82,949
(13) 租税公課		125,888	44,880	81,008	
(14) 諸会費		122,000	122,000	0	
(15) 委託費		866,562	580,612	285,950	
(16) 雑費		8,144	6,848	1,296	
事業共通費 計	17,499,200	16,962,511	536,689		
事業費 計			46,010,271	31,948,501	14,061,770

大科目	中科目	小科目	当年度	前年度	増減
② 管理費	1 常設委員会費	(1) 幹事手当	80,000	80,000	0
		(2) 会議費	4,800	22,118	△ 17,318
(3) 旅費交通費		17,214	56,216	△ 39,002	
(4) 消耗品費		0	0	0	
(5) 印刷製本費		0	0	0	
常設委員会費 計		102,014	158,334	△ 56,320	
2 その他管理費	(1) 給料手当	2,198,198	2,138,750	59,448	
	(2) 退職給付費用	144,000	144,000	0	
	(3) 福利厚生費	464,997	322,066	142,931	
	(4) 会議費	922	0	922	
	(5) 旅費交通費	2,298	0	2,298	
	(6) 通信運搬費	173,041	661,738	△ 488,697	
	(7) 減価償却費	255,728	1,615,877	△ 1,360,149	
	(8) 消耗品費	80,993	68,242	12,751	
	(9) 印刷製本費	26,876	89,934	△ 63,058	
	(10) 賃借料	42,768	42,768	0	
	(11) 事務所使用料	874,054	867,389	6,665	
	(12) 諸謝金	1,202,217	1,148,480	53,737	
	(13) 会費等入金手数料	832,696	874,794	△ 42,098	
	(14) 租税公課	15,362	11,220	4,142	
	(15) 委託費	1,642,084	2,135,881	△ 493,797	
	(16) 雑費	2,036	1,712	324	
その他管理費 計	7,958,270	10,122,851	△ 2,164,581		
管理費 計			8,060,284	10,281,185	△ 2,220,901
経常費用 計			54,070,555	42,229,686	11,840,869
評価損益等調整前当期経常増減額			32,063,347	15,823,534	16,239,813
基本財産評価損益等			0	0	0
特定資産評価損益等			0	0	0
評価損益等計			0	0	0
当期経常増減額			32,063,347	15,823,534	16,239,813
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
①前期損益修正益	前期損益修正益	前期損益修正益	0	0	0
経常外収益 計			0	0	0
(2) 経常外費用					
①固定資産除却損	什器備品除却損	什器備品除却損	0	0	0
固定資産除却損 計			0	0	0
経常外費用 計			0	0	0
当期経常外増減額			0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額			32,063,347	15,823,534	16,239,813
法人税、住民税及び事業税			70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額			31,993,347	15,753,534	16,239,813
一般正味財産期首残高			83,026,478	67,272,944	15,753,534
一般正味財産期末残高			115,019,825	83,026,478	31,993,347
II 指定正味財産増減の部					
①一般正味財産への振替額	一般正味財産への振替額	一般正味財産への振替額	△ 200,000	△ 100,000	△ 100,000
当期指定正味財産増減額			△ 200,000	△ 100,000	△ 100,000
指定正味財産期首残高			7,100,000	7,200,000	△ 100,000
指定正味財産期末残高			6,900,000	7,100,000	△ 200,000
III 正味財産期末残高			121,919,825	90,126,478	31,793,347

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
有価証券のうち満期保有目的の債券については、移動平均法による原価基準を採用している。
満期保有目的の債券以外の有価証券については、移動平均法による低価基準を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却について
定額法による減価償却を実施している。
- (3) 引当金の計上基準について
中小企業退職共済に加入しており自社退職金制度はないため、退職給付引当金は計上していない。
- (4) 消費税等に関する会計処理方法
税込方式で行っている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000			20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
国際交流引当特定資産	5,171,459	88		5,171,547
学会賞基金引当特定資産	4,259,720	35	250,000	4,009,755
浅田賞基金引当特定資産	3,100,181	43	200,000	2,900,224
システム改修準備金積立資産	4,000,178	68		4,000,246
小 計	16,531,538	234	450,000	16,081,772
合 計	36,531,538	234	450,000	36,081,772

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000		(20,000,000)	-
小 計	20,000,000		(20,000,000)	-
特定資産				
国際交流引当特定資産	5,171,547		(5,171,547)	
学会賞基金引当特定資産	4,009,755	(4,000,000)	(9,755)	
浅田賞基金引当特定資産	2,900,224	(2,900,000)	(224)	
システム改修準備金積立資産	4,000,246		(4,000,246)	
小 計	16,081,772	(6,900,000)	(9,181,772)	(0)
合 計	36,081,772	(6,900,000)	(29,181,772)	(0)

4 担保に供している資産

該当なし

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	4,950,204	1,789,431	3,160,773
ソフトウェア	7,529,490	7,201,170	328,320
差入保証金	972,000	-	972,000
合 計	13,451,694	8,990,601	4,461,093

6 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

7 保証債務等の偶発債務

該当なし

8 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

9 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
民間助成金						
学校体育振興助成金	日本教育シューズ	0	200,000	200,000	0	-
合 計		0	200,000	200,000	0	

10 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的使用による指定解除額	
受取寄付金(浅田基金)	200,000
合 計	200,000

11 関連当事者との取引の内容

該当なし

12 その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

該当なし

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記「2・基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載。

2. 引当金の明細

該当なし。

財 産 目 録

令和4年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	取得価額	金額			
(流動資産)	現金 預金	小口現金	—	0			
		普通預金 三菱UFJ銀行渋谷支店	—	74,275,340			
		普通預金 三井住友信託銀行芝営業部	—	63,097			
		振替貯金 東京貯金事務センター	—	5,644,571			
		定期預金 三菱UFJ銀行渋谷支店	—	1,000,104			
		(預金 計)		(80,983,112)			
	現金預金合計			80,983,112			
	前払金	第72回学会大会の費用前払い	//	1,062,198			
流動資産合計				82,045,310			
(固定資産)							
基本財産	預金	定期預金 三井住友信託銀行芝営業部	—	20,000,000			
基本財産合計				20,000,000			
特定資産	国際交流引当特定資産	定期預金 三井住友信託銀行芝営業部	—	3,680,000			
		普通預金 三井住友信託銀行芝営業部	—	75,135			
		定期預金 三菱UFJ銀行渋谷支店	—	1,416,412			
		(国際交流引当特定資産 計)		(5,171,547)			
		学会賞基金引当特定資産	普通預金 三井住友信託銀行芝営業部	—	4,009,755		
		浅田基金引当特定資産	定期預金 三井住友信託銀行芝営業部	—	2,000,000		
			普通預金 三井住友信託銀行芝営業部	—	900,224		
		(浅田基金引当特定資産 計)		(2,900,224)			
	システム改修準備金積立預金	定期預金 三井住友信託銀行芝営業部	—	4,000,000			
		普通預金 三井住友信託銀行芝営業部	—	246			
		(システム改修準備金積立資産 計)		(4,000,246)			
特定資産合計				16,081,772			
その他の固定資産	什器備品	スライド式棚	1,445,592	1,171,172			
		パソコン8台	1,360,510	240,268			
		事務机・椅子4セット	918,732	744,330			
		収納棚・ロッカー5台	666,967	540,355			
		会議テーブル1台	119,212	96,582			
		ドアパネル	184,932	149,827			
		金庫	254,259	218,239			
		(什器備品 計)	(4,950,204)	(3,160,773)			
			ソフトウェア	会員管理システム	7,529,490	328,320	
			差入保証金	JAPAN SPORT OLYMPIC SQUAREビル入居保証金	—	972,000	
その他の固定資産合計				4,461,093			
固定資産合計				40,542,865			
資産合計				122,588,175			
(流動負債)							
	前受金	次年度会費の前受け	—	120,000			
	預り金	地域会費の一時預り	—	446,500			
		源泉所得税・住民税	—	101,850			
		(預り金 計)		(548,350)			
流動負債合計				668,350			
負債合計				668,350			
正味財産				121,919,825			

令和4年5月9日

監 査 報 告

一般社団法人 日本体育・スポーツ・健康学会
会長 菊 幸一 殿

一般社団法人 日本体育・スポーツ・健康学会

監 事 阿 江 美 恵 子 (印略)

監 事 松 野 敦 子 (印略)

監 事 山 口 香 (印略)

私たちは、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度における事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査を行い、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁書類を閲覧し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行状況について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示していると認めます。

(2) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示していると認めます。

(3) 理事の職務執行に関し、不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以 上

委員会規程 改正案

改正案	現 行
(常設委員会) 第2条 本学会には、次の常設委員会を置く。 (1) 運営委員会 (2) 庶務委員会 (3) 会計委員会 (4) 「体育学研究」編集委員会 (5) 「IJSHS」編集委員会 (6) 学会大会委員会 (7) 国際交流委員会 (8) 企画委員会 (9) 広報委員会 (10) 研究倫理委員会 (11) 政策検討・諮問委員会 (12) 学術連合連携委員会 (13) <u>ダイバーシティ</u> 委員会 (14) 若手研究者委員会	(常設委員会) 第2条 本学会には、次の常設委員会を置く。 (1) 運営委員会 (2) 庶務委員会 (3) 会計委員会 (4) 「体育学研究」編集委員会 (5) 「IJSHS」編集委員会 (6) 学会大会委員会 (7) 国際交流委員会 (8) 企画委員会 (9) 広報委員会 (10) 研究倫理委員会 (11) 政策検討・諮問委員会 (12) 学術連合連携委員会 (13) <u>男女共同参画</u> 委員会 (14) 若手研究者委員会

<委員会名称の改定理由>

日本体育・スポーツ・健康学会（旧日本体育学会）は、女性会員が少なく、男性会員中心に学会活動がすすめられてきたという歴史的経緯がある。しかし、1999年に男女共同参画基本法が制定されて以来、様々な分野で女性に対する不平等な規定が改善されてきたことを受け、本学会においても女性会員の活躍の場を拡充することを目指して2013年に男女共同参画委員会が設立された。その結果、2013-2014年期の女性理事が4割近くまで増加し、また男女共同参画に関する調査の成果として「女性競技者の抱える問題、女性指導者増加のための具体的方策」や「日本体育学会女性会員の研究環境について」を発表するなど、委員会としては一定の成果をあげてきたといえる。しかしながら、近年わが国では、性別だけでなく、年齢や障がいの有無、国籍、雇用形態にかかわらず、組織に所属するすべての構成員が諸活動を行う機会を均等に得ることを目的とした「ダイバーシティ」という考え方が重要視されるようになり、各組織がダイバーシティの促進に取り組んでいる。

そこで本学会においても、男女共同参画委員会の業務内容を拡大し、性別に加え、年齢、障がいの有無等にかかわらず平等な学会活動に寄与する環境を実現するために「ダイバーシティ委員会」の設立を提案するものである。このように多様な人々が本学会の意思決定に関わることは、体育・スポーツ・健康学における創造性を高め、多様な人々が生きる社会に学術成果を還元することに貢献すると共に、学会そのものが社会のモデルとして機能することそれ自体も本学会の社会貢献活動のひとつになり得ると考えられる。

8月31日(水)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
3号館3階 【301】	オープニング セレモニー・総会 9:30-10:40		競技スポーツ A-1 (口頭 3演題) 11:00-11:50				【ライブ配信】競技スポーツ (課題Aシンポジウム) トッ プアスリート養成の拠点とし ての大学の意義と問題点II		【ライブ配信】本部企画シン ポジウム①「総合知を支える 学会」を目指して 16:20-18:10		
3号館4階 【401】			競技スポーツ A-2 (口頭 3演題) 11:00-11:50		(ランチョンセ ミナー④)		【ライブ配信/オンデマンド 配信】スポーツ文化 (課題A シンポジウム) スポーツを通 じた開発支援と持続可能性		【ライブ配信】本部企画シン ポジウム②持続可能な成熟社 会と体育・スポーツ科学 16:20-18:10		
3号館4階 【402】			学校保健体育 A-1 (口頭 5演題) 11:00-12:20		(ランチョンセ ミナー⑤)		学校保健体育 (課題Aシンポ ジウム) 共生社会の創造に向 けた大学体育授業の可能性 14:00-15:50		(本部企画シンポジウム② サテライト会場)		
3号館8階 【801】					ランチョンセ アーカイブ ティップス株式 会社						情報交換会 18:30-20:00
2号館4階 【4E】			学校保健体育 A-2 (口頭 5演題) 11:00-12:20		名誉会員懇談会 12:40-13:40						
2号館1階 【11】			生涯スポーツ A-1 (口頭 4演題) 11:00-12:10		(ランチョンセ ミナー②)		生涯スポーツ (課題Aシンポ ジウム) 協働システムの現状 と課題から今後を考える 14:00-15:50				
2号館1階 【12】			生涯スポー ツ A-2 (口頭 3演題)		(ランチョンセ ミナー③)						
2号館2階 【21】			健康福祉 A-1 (口頭 3演題) 11:00-11:50				【オンデマンド配信】健康福 祉 (課題Aシンポジウム) ライ フスタイルに応じた健康増				
2号館2階 【22】			健康福祉 A-2 (口頭 3演題) 11:00-11:50								
2号館4階 【45】			スポーツ文 化 A-1 (口頭 3演題)								
2号館4階 【46】											
3号館5階 【501】											
3号館5階 【502】											
第1 体育館	第2コスモホール：総合受付 バレーボール館・バスケットボール館：企業展示・ポスター発表会場										
3号館1階	書籍展示										

9月1日(木)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
3号館3階 【301】	学校保健体 査 B-1 (口頭 3演 題)		【ライブ配信】学校保健体育 (課題Bシンポジウム)より 良質な保健体育授業とその学 習内容を考える			健康福祉 C-1 (口頭 4演題) 14:00-15:10		健康福祉 C-2 (口頭 4演題) 15:30-16:40		【ライブ配信】健康福祉 (課 題Cシンポジウム) オンライ ン化で得られる健康、失う健 康	
3号館4階 【401】	学校保健体 査 B-2 (口頭 3演題)		【ライブ配信】生涯スポーツ (課題Bシンポジウム) 子ども たちのWell-Beingとスポーツ		(ランチョンセ ミナー⑨)			競技スポーツ C-2 (口頭 4演題) 15:30-16:40			
3号館4階 【402】	競技スポーツ B-1 (口頭 5演題) 9:00-10:20		競技スポーツ (課題Bシンポ ジウム) 競技スポーツの女性 コーチ養成 10:30-12:20		(ランチョンセ ミナー⑩)		競技スポーツ C-1 (口頭 4演題) 14:00-15:10		競技スポーツ C-3 (口頭 4演題) 15:30-16:40		競技スポーツ (課題Cシンポ ジウム) ハイパフォーマンス スポーツにおける性差に応じ たトレーニング
3号館8階 【801】					ランチョンセ⑥ 株式会社 SPLYZA 12:40-13:40						
2号館4階 【4E】					地域協力学会 連絡会議 12:40-13:40	学校保健体育 C-1 (口頭 4) 14:00-15:10		学校保健体育 C-4 (口頭 4演題) 15:30-16:40		学校保健体育 (課題Cシンポ ジウム) 子どもの心身機能の 現状から考えるこれからの保 健体育とその科学的背景	
2号館1階 【11】	生涯スポー ツ B-1 (口頭 3演題)				(ランチョンセ ミナー⑦)			生涯スポーツ C-1 (口頭 5演題) 15:20-16:40		生涯スポーツ (課題Cシンポ ジウム) 国民の運動・スポー ツ参加の現状および問題点 (その2)	
2号館1階 【12】	生涯スポー ツ B-2 (口頭 3演題)				(ランチョンセ ミナー⑧)			生涯スポーツ C-2 (口頭 5演題) 15:20-16:40			
2号館2階 【21】	健康福祉 B-1 (口頭 3演 題)		健康福祉 (課題Bシンポジウ ム) 運動から認知へ、認知か ら運動へ 10:30-12:20					スポーツ文化 C-1 (口頭 4演題) 15:30-16:40		【オンデマンド配信】スポー ツ文化 (課題Cシンポジウ ム) スポーツ文化の浸透戦略 (2)	
2号館2階 【22】	スポーツ文 化 B-1 (口頭 3演題)										
2号館4階 【45】	スポーツ文 化B-2 (口頭 3演題) 9:00-9:50		【オンデマンド配信】スポー ツ文化 (課題Bシンポジウ ム) スポーツにおける/をと おした「多様性と調和」はい			学校保健体育 C-2 (口頭 4演題) 14:00-15:10		学校保健体育 C-5 (口頭 4) 15:30-16:40			
2号館4階 【46】	スポーツ文 化B-3 (口頭 3演題) 9:00-9:50					学校保健体育 C-3 (口頭 4) 14:00-15:10		学校保健体 査 C-6 (口頭 3)			
3号館5階 【501】											
3号館5階 【502】											
第1 体育館	第2コスモホール：総合受付 バレーボール館・バスケットボール館：企業展示・ポスター発表会場										
3号館1階	書籍展示										

9月2日(金)

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
3号館3階 【301】	体育心理学 (心)	(心) 総会 9:00-9:50				(心)キーノー トレク チャー 13:00-13:50	(心)キーノー トレク チャー 14:00-14:50	(心)口頭発表 20分×9演題 15:00-18:10			
3号館4階 【401】	体育科教育学 (体科)	(体科) 理事会 9:00-10:00		(体科)口頭 15分×4演題 10:20-11:30			(体科) 総会 13:20-14:20	(体科) 口頭 15分×4演題 14:40-15:50			
3号館4階 【402】	体育経営管理 (経)			(経)口頭 20分×3演題 10:20-11:30			(経)総会 13:30-14:30				
3号館8階 【801】	バイオメカニク ス (バ)	(バ) 理事会 9:00-10:00		(バ) キーノー ト レクチャー 10:20-11:20	専門領域連絡会 議 12:00-13:00		(バ) 口頭 15分×4演題 13:20-14:30				
2号館4階 【4E】	発育発達(発) 体育・スポーツ 政策(政策)	(発)理事会 9:00-10:00		(発)キーノー ト レクチャー 10:50-11:50	(政策) キーノー ト レクチャー 12:15-13:10		(政策) 総会 13:20-14:20	(政策) 口頭 25分×7演題 14:40-17:50			
2号館1階 【11】	体育方法 (方)	(方)理事会 9:00-10:00		(方) キーノー ト レクチャー 11:00-12:30							
2号館1階 【12】	体育社会学 (社)	(社) 評議員会 9:00-10:00	(社) 口頭 25分×2演題 10:00-10:50	(社) キー ノー ト レクチャー 11:00-11:50	(社) 総会 12:00-13:00		(社) 口頭 25分×3演題 13:10-14:25	(社) 口頭 25分×3演題 14:35-15:50			
2号館2階 【21】	測定評価 (測)	(測)理事会 9:00-10:00		(測)口頭 12分×6演題 10:20-11:40		(測) 総会 13:00-14:00	(測) キーノー ト レクチャー 14:10-15:10	(測)口頭 12分×6演題 15:20-16:40			
2号館2階 【22】	体育史(史)			(史)キーノー ト レクチャー 10:00-11:30			(史)口頭 30分×4演題 13:00-15:00				
2号館4階 【45】	アダプテッド・ スポーツ科学 (ア)	(ア) 評議 員会 9:00-9:50		(ア) キーノー ト レクチャー 10:00-11:30	(ア)総会 11:40- 12:20						
2号館4階 【46】	介護予防・健康 づくり(介) 体育哲学(哲)	介護福祉・健康 づくり理事会 (未定)	(介) キーノー ト レクチャー 10:00-11:00	(介) 口頭 10分 ×2	(哲)キーノー ト レクチャー 12:00-13:00		(哲)総会 13:20-14:20	(哲)口頭 30分×3演題 14:40-16:20			
3号館5階 【501】	スポーツ人類学 (人)	(人) 世話人会 9:00-10:00		(人)キーノー ト レクチャー 10:00-11:10			(人)総会 13:30-14:30	(人)口頭 20分×3演題 14:40-15:50			
3号館5階 【502】	保健 (保)	(保) 理事 会 9:00-9:50		(保)口頭 15分×2演題 10:20-11:30			(保)総会 13:10-14:10	(保)キーノー ト レクチャー 14:30-15:30			
第1 体育館	第2コスモホール：総合受付 バレーボール館・バスケットボール館：企業展示・ポスター発表会場										
3号館1階	書籍展示										
		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
ポスター	発育発達(奇数) 9:00-10:00	発育発達(偶数) 10:00-11:00	体育心理(偶数) 11:00-12:00	経営 12:00-13:00	体育方法(偶数) 13:00-14:00						
		体育方法(奇数) 10:00-11:00	運動生理学 11:00-12:00	保健 12:00-13:00	アダプテッド 13:00-14:30						
		体育心理(奇数) 10:00-11:00		体育科教育 11:30-13:00							
				バイオメカニクス 11:30-13:00							
				(測)11:40 -12:20							

第72回大会参加・演題登録数

■参加登録者数

2022.6.7現在

	会員	非会員	学生	名誉会員	合計
早期参加登録	631	43	174	2	850
事前参加登録	101	14	17	3	135
合計	732	57	191	5	985

■研究発表数一覧

テーマ別研究発表	区分	口頭発表	ポスター発表	合計
スポーツ文化研究部会	課題A	3	0	3
	課題B	9	0	9
	課題C	4	0	4
学校保健体育研究部会	課題A	10	0	10
	課題B	6	0	6
	課題C	23	0	23
競技スポーツ研究部会	課題A	6	0	6
	課題B	5	0	5
	課題C	12	0	12
生涯スポーツ研究部会	課題A	7	0	7
	課題B	6	0	6
	課題C	10	0	10
健康福祉研究部会	課題A	6	0	6
	課題B	3	0	3
	課題C	8	0	8
合計		118	0	118

専門領域別研究発表	口頭発表	ポスター発表	合計
体育哲学	3	0	3
体育史	4	0	4
体育社会学	8	0	8
体育心理学	11	41	52
運動生理学	0	4	4
バイオメカニクス	4	10	14
体育経営管理	3	4	7
発育発達	0	16	16
測定評価	12	13	25
体育方法	0	36	36
保健	2	4	6
体育科教育学	8*	14	22
スポーツ人類学	3	0	3
アダプテッド・スポーツ科学	0	7	7
介護予防・健康づくり	2*	0	2
体育・スポーツ政策	7*	0	7
合計	67	149	216

*ドイツスポーツ科学学会1演題含む

*インド体育学会1演題含む

*ドイツスポーツ科学学会, インド体育学会各1演題含む

2022/6/11

日本体育・スポーツ・健康学会 第73回大会 準備状況

第73回大会実行委員会

- ・開催日時：2023年8月30日（水）、31日（木）、9月1日（金）
- ・会場：同志社大学 今出川キャンパス 良心館（キャンパスマップ参照）
室町キャンパス 寒梅館（道路を挟んだ向かい）
（予備）新町キャンパス 尋真館・臨光館（徒歩5分程度）

今出川校地

<https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/madogawa/overview.html>



2022年4月現在

2022 年度 日本体育・スポーツ・健康学会諸会議日程

- 2022 年 4 月 16 日（土） 第 7 回理事会
- 2022 年 5 月 21 日（土） 第 8 回理事会
- 2022 年 6 月 11 日（土） 定時社員総会
- 2022 年 7 月 9 日（土） 第 9 回理事会
- 2022 年 8 月 30 日（火） 第 10 回理事会（学会大会前日）
- 2022 年 8 月 31 日（水） 臨時社員総会（学会大会初日）
- 2022 年 9 月 1 日（木） 地域協力学会連絡会議（学会大会 2 日目）
- 2022 年 9 月 2 日（金） 専門領域連絡会議（学会大会 3 日目）
- 2022 年 10 月 15 日（土） 第 11 回理事会
- 2022 年 12 月 17 日（土） 第 12 回理事会
- 2023 年 3 月 11 日（土） 第 13 回理事会

* 第 72 回大会（順天堂大学）：2022 年 8 月 31 日（水）～9 月 2 日（金）